



柴田町立船迫中学校

学校だより 臨時特集号

平成30年10月24日(水)

そっ たく
啐 啄

毎年3学年を対象に行われております「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省より報告されました。それを受け、本校で結果を分析し、今後の船迫中学校としての取組をまとめましたので、保護者の皆様にお知らせします。ご一読いただき、本校生徒のよい点、課題となる点をご理解の上、ご家庭でもお声がけをお願いします。

教科に関する結果考察及び今後の取組

※全国平均正答率と比較して、±5ポイント以内は同程度として結果を報告します。

教科	結果(全国との比較)	分析と課題改善に向けた今後の取組
国語A(主として知識)	全体(同程度) 話すこと(やや上回る) 聞くこと(やや上回る) 書くこと(同程度) 読むこと(同程度) 言語の理解(同程度)	<ul style="list-style-type: none"> 前後を考えて会話やスピーチを組み立て説明する力(話すこと)が高い生徒が多いです。 漢字の書き取りや短文づくり(言語の理解)に無答が多くありました。また、文章内容を変えずに一文に書き直す、段落構成をし直す問題(書くこと)に弱点が見られます。 <p>→ 文法や漢字、古文等、簡単な演習問題を定期的に反復する場面を設定していきます。</p>
国語B(主として活用)	全体(同程度) 話すこと(同程度) 聞くこと(同程度) 書くこと(やや下回る) 読むこと(同程度) 言語の理解(下回る)	<ul style="list-style-type: none"> 条件を満たして短作文をする力や、相手に伝わるように書く力(書くこと)に課題があります。 <p>→ (書くこと)の領域で力を伸ばすためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①Aであげた課題(言語の理解)を克服すること ②(読むこと)を重視し、思考を深めさせることが効果的であると考えられます。授業の中で、「読む」→「書く」→「読む」を繰り返す場面を設定していきます。
数学A(主として知識)	全体(やや下回る) 数と式(やや下回る) 図形(やや下回る) 関数(やや下回る) 資料(やや下回る)	<ul style="list-style-type: none"> 指数を含む、正の数と負の数の計算を苦手とする生徒の割合が多いです。 <p>→ 指数を含む計算の手順を学び直すとともに、基本的な計算問題を反復して取り組む場面を設け、基礎・基本の定着を目指していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表などを利用して、確率を求めることを苦手とする生徒の割合が多いです <p>→ 身近な事象や、具体的な事象と関連付けて捉えながら、表や樹形図に表し考える場面を設定していきます。</p>
数学B(主として活用)	全体(同程度) 数と式(同程度) 図形(やや下回る) 関数(同程度) 資料(同程度)	<ul style="list-style-type: none"> ある事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することを苦手とする生徒の割合が多いです。 発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことを苦手とする生徒の割合が多いです。 付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することを苦手とする生徒の割合が多いです。 <p>→ 生徒同士が結論を導くために、筋道を立てて考え、お互いに説明し合うなど、生徒が主体的に学び合う場面を設定していきます。</p>

教科	結果（全国との比較）	分析と課題改善に向けた今後の取組
理科	物理的領域（同程度） 化学的領域（同程度） 生物的領域（同程度） 地学的領域（同程度）	どの領域も、観察・実験の技能については、正答率が 高く、思考・表現（考えたことを、自分の言葉で表現 する）については正答率が低かったです。また、物理領 域 「電流」の学習内容についての正答率が非常に高かっ たです。反面、自然の事物現象が、どのような要因や 条 件で変化するかを指摘する問題や、記述式の問題の正 当答率が低かったです。課題改善のために、観察・実 験 の目的を明確に示すこと、予想や結果考察の時間をこ れまで以上に大切にし、グループで考えを共有するこ とに力を入れていきます。また、理科の学習に対する 意 欲の高さを生かすためにも.今まで以上に観察・実験を 行っていきたいと考えています。

学習状況に関する結果考察及び今後の取組（生徒質問紙）

※全国平均値と比較して、上回っている項目(○)、下回っている項目(▲)についてお知らせします。

	本校生徒の状況	今後の取組
家庭生活及び 自分自身について	○朝食を毎日食べている生徒が多い。 ○毎日同じくらいの時刻に就寝、起床して いる生徒が多い。 ○平日の読書を30分以上している生徒 が多い。 ▲自分のよいところを認めてくれている と感じている生徒が少ない。 ▲家の人と学校での出来事について話を すると感じている人が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ご飯がご家庭においても徹底 されていることが分かります。お子様に今後も お声がけくださいますようよろしくお願いし ます。 ・部活動、行事での活躍を認め、授業や生活の中 でも良さを認め褒めていきます。ご家庭でも学 校の様子などについて話題にさせていただくな どの語らいを通して、お子様の良い面をたくさ ん褒めてください。
家庭学習について	○家で、自分で計画を立てて勉強をしてい る生徒が多い。 ○授業の予習・復習に取り組み、自主学習 では教科書を使い学習している生徒が多 い。 ▲毎日1時間以上学習する生徒が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習に力を入れて学習に取り組んでい ることが分かります。家庭で学習することの意 義を再確認し、宿題の回収、点検を強化してい きます。ご家庭でもお声がけをお願いします。
学校生活について	○部活動に参加している生徒が多い。 ▲学校の規則を守っていると答えた生徒 が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・規則については、異装や不要物の所持等は見ら れませんが、「表だってばれなければよい。」と いうような、規範意識の低下が考えられます。 道徳科の充実や普段の生活において指導して いきたいと思えます。
授業について	○理科の授業で理科室での観察や実験を 週1回以上あったと答えた生徒がほぼ 全員で、理科が好きだ、大切だと感じて おり、普段の生活の中で利用できないか と考えている生徒が非常に多い。 ○数学の授業で学習したことは、将来、社 会に出たときに役に立つと思っている 生徒が多い。 ○授業や課外活動で地域のことを調べた り、地域の人と関わったりする機会があ ったと感じている生徒多い。 ○話し合い活動において、自分の考えを深	<ul style="list-style-type: none"> ・県の『学力向上に向けた5つの提言』の実践を 徹底していきます。 1 どの子供にも積極的に声がけするととも に、子供の声に耳を傾けること 2 子供をほめること、認めること 3 授業のねらいを明確にするとともに、授業 の終末に適用問題や小テスト、感想を書く時 間を位置づけること 4 自分の考えをしっかりとノートに書かせ ること 5 家庭学習の時間を確保すること ・魅力ある学習課題、話し合い活動の充実を職員

	<p>めたり、広げたりすることができたと感じている生徒が多い。</p> <p>▲数学の勉強を好きだと感じている生徒が少ない。</p> <p>▲宿題にきちんと取り組んでいる生徒が少ない。</p>	<p>で研修しています。その成果を授業で実践していきます。</p> <p>・基礎・基本の定着を図る宿題を多く出すこと、頑張っている生徒をきちんと評価すること、未提出生徒への根気強い声かけを実践していきます。</p>
--	--	---